

11/11



愛媛 CATV 動画

ワクワク体験教室 篠山の自然を楽しもう！



ワ クワク体験教室
篠山の自然を楽しもう！が開催され、町内の小学1～6年生13人が、篠山登山に挑戦しました。

途中、講師である環境省自然保護官から出題される「柵は何のためにある？」、「アケボノツツジの年齢は？」などのクイズに挑戦したり、フィールドサインと呼ばれる生き物の足跡やエサを食べた跡



①篠山山頂で記念撮影。全員が元気に登りきりました②篠山の自然について学びました。

を探したりと、楽しみながら篠山の自然について学びました。

参加した子どもたちからは、「登るのは大変だったけど、頂上からの景色はすごくきれいだった」、「篠山の自然を守るために、色々な取組をしていることが分かった」、「今度は家族で登ってみたい」などの感想が聞かれました。



U字型曳航による漂流油回収訓練

10/19

非常時に備え 海難油防除訓練

愛 南地区沿岸海難（津波）救助協議会（向田陽二代表）は、平成30年度海難油防除訓練を実施しました。

海上に流出した油の漂流を防ぐオイルフェンス展張訓練は実際に漁船を使用して行われ、参加した約100人の地元漁業者は、講師からロープの張り方の説明などを受けました。

11/6

池田一成さんの牛が 最高位の優等賞首席



優等賞首席を受賞した池田一成さん

西 予市野村畜産総合振興センターで「第80回愛媛県総合畜産共進会・肉用種牛の部」が開催され、池田一成さん（広見）の出品牛「えいこ33」が「雌子牛の部」において、最高位である優等賞首席を受賞しました。

また併せて農林水産省3賞の「中四国農政局長賞」も受賞しました。

11/
24~25



愛媛 CATV 動画

平成 30 年度愛南町文化祭 開催されました！



御

荘文化セン
ター、城の辺

会も開催されました。

各会場には文化協会

学習館、平城交流セン
ターの3か所で、2日
間にわたって、愛南町
文化協会主催による愛
南町文化祭が開催され
ました。

員の作品が数多く展示
されたほか、文化セン
ターでは機織り体験や
フラワーアレンジメン
ト等のワークショップ
、城の辺学習館では
バルーンアート体験、
生け花体験も行われ
ました。平城交流セン
ターでは短歌大会や囲
碁大会も開催され、い
ずれも好評をいただき
ました。

文化センターホール
では、オープニング
の久良地区の郷土芸能
「へト踊り」をはじめ、
唄や踊り、演奏等さま
ざまな発表が行われ、
豪華景品の当たる抽選

も開催されました。



①美しい歌声を披露したリーフレット(南宇和子ども合唱団) ②社交ダンス「あけほの」が観客を魅了

11/
13

高速道路早期事業化 国交相政務官に要望

国

道56号一本松・宇
和島間整備促進協

議会(会長 清水雅文愛
南町長)の協議会役員と
愛媛県選出国会議員が、
阿達雅志^{まさし}国土交通大臣政
務官などと面会し、四国
横断自動車道・宿毛く内
海間(約30km)の早期事
業化などの要望を行いま
した。政務官は、「様子
を見ながらサポートして
いきます」と応えました。



阿達政務官に要望説明を行う清水町長

11/
20

一本松中学校に 税務署長が感謝状

税

についての作文コ
ンクールに毎年作
品を出品するなど、租税
教育を推進している一本
松中学校に宇和島税務署
長から感謝状が贈られま
した。

感謝状を受け取った吉
本浩校長は、「これからも
租税教室を開催するなど
して、将来社会に貢献で
きる生徒を育てていきたく
い」と話しました。



感謝状を受け取った吉本浩一本松中学校長

12/7



愛媛 CATV 動画

ゴルフ通じ社会貢献 有志が保育所等に寄付

第22回一本松オー ゴルフコンペ

(11月25日
四万十市)で集まった寄
付金の贈呈式が福岡内科
外科医院(一本松)で行
われました。

贈呈式では、大会実行
委員長の福岡義人さんか
ら、ありんこくらぶ、町
教育委員会、町内保育所・
幼稚園に目録が手渡され
ました。



チャリティゴルフコンペ寄付金贈呈式。
写真後列右が福岡義人実行委員長

12/10



久良小児童が 通信印の原画

久良郵便局で使用さ れている風景入通 信日付印が38年ぶりに新 しくなりました。

これまで風景印は、
昭和55年に作られたもの
で、当時旺盛だったかつ
お船がモチーフになつて
いました。今回は、久良
小の児童が原画を作り、
ぶりや養殖いかだ、天囃
の鼻が描かれた風景印が
出来上がりました。



久良郵便局の風景入通信印の原画を作った
久良小の児童と鈴木貞局長

12/12

学校で役立てて 「こども手帳」贈呈

地域の安心・安全の ための社会貢献活 動に取り組む(公財)日 本公衆電話会から町に対 して「こども手帳」60 冊が贈呈されました。

間島実四国統括支部長
は、「手帳を活用してい
ただき、子どもたちに自
分の身の安全を守るため
の知識を身につけてもら
えたら」と話しました。



目録を持つ間島実四国統括支部長(写真右)

12/25

「さくらひめ」の 出荷始まる

ルフィニウムの新 品種「さくらひめ」 は従来品種よりも花数が 多く華やかで、さくらの 花に似ているのが特徴で す。

平成29年から生産に取
り組む門田淳さん(小山)
は「今年も満足の出来栄
え。皆さんに楽しんでも
らいたい」と笑顔。6月
ごろまで町内の産直市に
出荷される予定です。



さくらひめの出荷作業を行う門田淳さん

納税意識の向上を目指して 税についての作文 表彰式



岡田くん



写真左から清水さん、中西くん、松本さん、久保さん、川本さん

宇和島商工会館で平成30年度中学生の「税についての作文」の表彰式が行われ、入賞者が表彰を受けました。本町からは篠山中学校の松本 央里さんが四国納税貯蓄組合総連合会長賞を受賞するなど6人が入選しました。

■宇和島地区租税教育
推進協議会長賞
岡田 楓斗くん（城辺中1年）
「税の役割」

■宇和島地区租税連絡協議会長賞
清水 美紗さん（御荘中3年）
「税の歴史から学ぶ」

■宇和島税務署長賞
中西 治樹くん（一本松中3年）
「協同の気持ちで」

■四国納税貯蓄組合総連合会長賞
松本 央里さん（篠山中3年）
「税の大切さ」

■宇和島税務署長賞
久保 希颯さん（御荘中3年）
「税金を納めるということ」

■宇和島税務署管内
青色申告会連合会長賞
川本 七夏さん（内海中3年）
「暮らしやすい街のために」

本日!海日和!! vol.98 「イセエビ団地」



イセエビ（伊勢海老）

最近、スーパーやコンビニで、おせち料理を注文する人が増えているようだ。エビが定番のおせち料理になったのは、長いひげを生やし、腰が曲がるまで長生きすることを願っているらしい。その中でも値段が高いのがイセエビだろう。もちろん我が家のおせち料理には登場したことがない。

そんな高級食材のイセエビだが、ダイバーの間では「エビ団地」という話が、まことしやかに語られる。岩の割れ目に取りきれないほどのイセエビを見た。とか、並んでいるイセエビを端から順番に捕まえていった。など、大量のイセエビの話だが、まんざら嘘ではない。私も団地とまではいかないが、「エビアパート」くらいのは見たこ

とがある。

ナイトダイビングをしていると、ライトに照らされた岩から多数の枝が生えている。変だなと思って近づいてみると、枝だと思ったのは、折り重なったイセエビのヒゲであった。残念ながらカメラを持っていなかったので、次の日に準備万端で潜った。ところが、一匹もない。

真夏の夜の夢だったのだろうか…。

(撮影地：愛南町)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる